

かわら版

唐津街道姪浜まちづくり協議会

第十一号

平成三十年十月一日
発行元

唐津街道姪浜まちづくり協議会
姪浜NEMT・まちづくり行動委員会

事務局 福岡市西区姪の浜5丁目13の2



メッセージ



会長 田中大士

弊協議会は姪浜の町家や古い町並みを保存し、歴史や文化を大切にしながら地域の発展、コミュニティの活性化を地域内外の人々と共に推進していくために平成19年に発足したまちづくり団体です。

東は室見橋から西は名柄川にかかる興徳寺橋までの唐津街道沿いが主な活動地域です。会員の居住地は姪浜地区をはじめ広域に亘ります。三十代から六十代までの幅広い年齢層の男女で構成されています。

活動内容はまち歩きやコンサートや講演会などイベントの開催、まち歩きマップの作成やかわら版の発行、小学校での講義や団体・大学・自治体の視察の受け入れ、まちづくり活動拠点の運営、地域の魅力の再認識と地域内外への発信、姪浜のまちづくり計画の策定、姪浜ブランドの構築などです。

姪浜は鎌倉時代には鎮西探題が置かれ姪浜城を築き九州で重要なところでした。江戸時代には宿場町や漁師町があり姪浜千軒と言われて繁栄しました。姪浜は福岡市で最も町家が残っている地域です。また、寺社が多く町家や寺社のまわりを細い路地が通っているのも姪浜の特徴です。大正から昭和三十年代にかけては炭坑町として繁栄し、現在の姪浜地域発展の礎を築きました。姪浜をじっくりと歩いてみるとたくさん「よかこ」を発見することができます。姪浜は古いものと新しいものが共存し、歴史や文化が豊かで海の幸に恵まれた素晴らしいまちです。「唐津街道姪浜まちづくり協議会」では、地元の人たちにとっては「住みやすさ・暮らしやすさ」のあるまち、訪れる人たちにとっては「楽しさ」のあるまちの実現を目標として姪浜の「よかこ」を個性として活かすことができるような「まちづくり・町並み景観づくり」を地域のみならずと共に進めていきたいと願っています。

活動報告

(1)「姪浜路地裏そうつき歩き」

平成30年3月31日(土)に「姪浜路地裏そうつき歩き「御園」でカンパイ！」を開催しましたが多くの皆様にご参加いただきました。タイトルにもあります「そうつき」という言葉は、博多弁で「うろつく」という意味です。今回の企画は姪浜の裏路地をうろつきながら、新しい魅力を発見していただきたいという思いでした。桜の開花もタイミングよく、良いロケーションで迷路のような入り



組んだ路地を迷子にならないように歩いていただきました。そして、歩き疲れた後は、魚の町「姪浜の名店」玄海の食事処「御園」で姪浜漁港に揚がった新鮮な魚を食べながら「カンパイ！」最後に姪浜の話で語らい、楽しい1日となりました。

(2)かまぼこ作り

平成30年2月12日(祝)に小学生を対象としたイベント「姪浜のたまご箱おいしい姪浜魚嘉でカマボコと天ぷらを作ろう！」を開催しました。ご協力いただいたのは、姪浜ブランド認定店「魚嘉さん」です。明治創業の百年以上続く名店で歴史のあるかまぼこ屋さんです。その老舗かまぼこ屋さんでかまぼこ天ぷら作り体験を行いました。それぞれの個性でかまぼこに絵や文字を書いたりお好みの具材を混ぜ込んで天ぷらを作りました。なかなか出来ない体験なのでみんな絶品だったのではないのでしょうか。また、かまぼこに火を入れる時間を利用して普段見ることが出来ない工場を見学したり、お隣の「みかく堂」さんでスライド視聴、それから、まち歩きをして姪浜の事をいっぱい学んでいただきました。



絶品だったのではないのでしょうか。また、かまぼこに火を入れる時間を利用して普段見ることが出来ない工場を見学したり、お隣の「みかく堂」さんでスライド視聴、それから、まち歩きをして姪浜の事をいっぱい学んでいただきました。

(3) まつり姫北出店(7月21日開催)

毎年恒例のまつり姫北に出店をしました。姫浜新名物「ぼた山カレー」販売しました。カレーのルーにはイカスミを使用して黒く、お米には竹炭を入れて炊いて黒くしています。そして、真中にはお月見をイメージしたゆで卵付きです。姫浜炭鉱をイメージしたアイデア商品は年に数回しか食べられません。是非一度、絶品カレーをお召し上がりください。

今回も多くの方にご来場いただきました、皆様ありがとうございます。また来年も宜しくお願い致します。



(4) 姫浜まつり出店(7月22日開催)

まつり姫北に続き、商店街のお祭り「姫浜まつり」に今年も参加致しました。唐津街道姫浜まちづくり協議会としては、恒例の缶バッジとカブトムシ販売で出店致しました。缶バッジは自分の好きな絵を描いてその場で、オリジナル缶バッジの完成です。多くのお子様達に楽しんでいただけました。



カブトムシは、最近なかなか近くで見ることが少なくなりました子供達にとっては、珍しい目で見ただけでした。姫浜では、近年マンシヨンが多く建ち並び自然が少なくなつたので、自然と触れ合えるいい機会を作れたのではないかと思います。



ご来場頂きました皆様、ありがとうございます。

(5) 姫浜そうじき歩きwith姫浜ライブ

平成30年9月15日(土)に姫浜住吉神社にて福岡市文化財活性化実行委員会と唐津街道姫浜まちづくり協議会の共催で「姫浜そうじき歩きwith街道ライブ」を開催しました。まずは、姫浜そうじき歩きを16時〜17時30分まで古い町家が残る歴史豊かな町を唐津街道歴史研究家の有田氏のご案内いたしました。その後は、18時〜20時までを街道ライブを行いました。



ライブでは、2アーティストに演奏していただきました。最初の演奏は、筑前琵琶保存会 第2代会主 高木 青鳳さんからです。従来の琵琶のイメージ「暗い、悲しい、お経っぽい…」そして何より「難しそう」というイメージを覆す、観客参加型の楽しいライブ展開でした。



次の演奏は、三線ロビンズさんです。沖縄の民謡や島唄、日本の民謡・わらべ歌などを演奏していただきました。沖縄民謡では、観客のみなさまと一緒に踊って楽しんでいただいたライブとなりました。その後、番外編として、シークレットライブを姫浜の飲食店「ワイン酒場 PIPS」で20時15分〜21時15分まで行い、続いて「ダイニングバーアトリエ」で21時30分〜22時まで行いました。PIPSでは、福岡を中心に活動中のシンガーソングライター「DAIKI」さん、アトリエでは、福岡県在住のシンガーソングライター「岸原聡」さんに演奏していただきました。16時からシークレットライブまで合わせると6時間と長丁場イベントでしたが、町家と音楽が一体となり幻想的で有意義な一日となったのではないのでしょうか。最後はお客様に笑顔でお帰りいただき、「楽しかった」というお言葉もいただきました。大変感謝しております。次回も開催できるように頑張りたいと思います。今後にご期待ください!

姫浜・町並み今昔

小戸公園内にある御膳立て。今も昔も変わっていないですが、小戸公園としてキレイに整備されました。現在の写真は、まち歩きマップの表紙にもなっています。



姫浜トリックス

姫浜住吉神社で10月20日(土)・21日(日)に秋の大祭が行われます。20日は18時〜21時まで奉納舞台と露店で祭りが賑わいます。21日(日)は10時〜12時までで、3年に1度の海上御神幸祭が執り行われます。神輿が町内を回り、姫浜漁港から漁船に乗って小戸の御膳立ての側まで行き、小戸大神宮正面の海上で神事を執ります。秋祭りとは、御神徳による平和と繁栄に感謝し、家内安全・交通安全・商売繁盛を祈願いたします。

また、10月〜11月になりますと、姫浜住吉神社では七五三参りがございます。その頃には(例年11月中旬頃)、樹齢七百年のイチヨウの葉が黄色く色付きます。これだけ大きなイチヨウの木はめずらしいですので、是非ご覧ください。



お正月には姫浜住吉神社では、無病息災を願う巨大な破魔矢(高さ約7メートル)6本が飾り付けられます。「住吉神社の名物を作りたい」と発案し、毎年設置しています。大破魔矢をくぐり、縁起の良い1年の始まりとなります。



活動に参加しませんか!

活動を進展・充実させていくため、姫浜に想いを寄せる方、行動力のある方、金銭面で支援していただける方を募集しています。年会費は、正会員(5000円/口)、準会員(3000円/口)です。スポンサーも募集しております。

また、「TEAM姫浜ネクスト」に参加していただける方も募集しています(会費不要)。
【問い合わせ・連絡先】
唐津街道姫浜まちづくり協議会
TEL:092・874・1518
(午クリエティブタイム内)
e-mail:karatsu.mehohanna@gmail.com

事務局長通信

今回から版作成に際しましては、今年もいろいろなイベントや行事に参加させていただいたり、新しい企画にもチャレンジして参りました。それに伴い、ご協力いただきました地域の店舗様、団体様をはじめ、ご参加いただきました皆様へ感謝しております。今後も姫浜の町を唐津街道姫浜まちづくり協議会会員一同、盛上げ、寺社の伝統、町家を守っていく活動をしてきます。これからも宜しくお願い致します。

事務局長 佐伯竜平